

高齢者負担増を考える

②日本の社会保障は本当に高齢者優遇なのか

政府は75歳以上の窓口負担を現在の1割から2割へと引き上げることを決めた。高齢者負担増をどう考えるべきか。佐久大学特任教授の唐鎌直義氏に連載で解説してもらおう。(全6回)



開発機構は社会支出を9分野に細分化している。高齡分野(老齡年金と介護)に社会支出全体の46%を、保健分野(医療)に33.9%を配分しているからである。これに遺族分野(遺族年金)の5.5%を加えると85%に達する。

日本の社会保障は、実質的に今もスウェーデンの2分の1、フランスの3分の2のレベルである。OECD(経済協力

2大分野別にみた国民1人当り社会支出の国際比較(2015年)

支出額 (USドル)	高齡関連				貧困関連	合計
	高齡	遺族	保健	小計		
米 国	4646	478	1万178	1万5302	2541	1万7843
スウェーデン	7328	260	5074	1万2662	8930	2万1592
フランス	6646	898	4612	1万2155	4713	1万6868
ドイツ	4648	1030	4992	1万670	4543	1万5213
英 国	4293	30	4558	8881	4445	1万3326
日 本	5086	609	3743	9438	1588	1万1026

構成比 (%)	高齡関連				貧困関連	合計
	高齡	遺族	保健	小計		
米 国	26.0	2.7	57.0	85.8	14.2	100.0
日 本	46.1	5.5	33.9	85.6	14.4	100.0
フランス	39.4	5.3	27.3	72.1	27.9	100.0
ドイツ	30.6	6.8	32.8	70.1	29.9	100.0
英 国	32.2	0.2	34.2	66.6	33.4	100.0
スウェーデン	33.9	1.2	23.5	58.6	41.4	100.0

* 各分野の金額は、各分野の支出率に計を乗じて算出した。各分野の支出率に関するデータは、国立社会保障・人口問題研究所社会保障費用統計 (http://www.ipss.go.jp/ss-cost/j/fsss-h29/fsss_h29.asp) 参照。

「優遇」は日本政府の幻想

しかし、構成比ではなく1人当り社会支出額の表(上)を見ると、全く違う側面が明らかになる。小計の欄に示されているように、日本の高齡分野への1人当り社会支出は6カ国中5位(9438ドル)に止まる。最下位の英国(8811ドル)よりは上というレベルである。胸を張って「高齡者優遇型」と呼べるほどのレベルではない。中身を検討すると、遺族分野(遺族年金)と高齡分野(老齡年金と介護)が6カ国中3位で、まあ

むしろ拡充こそ

こうした背景のもとに、コロナ禍による医療崩壊が全国的に生じるに至った。平時の医療体制(病床数、スタッフ数)を極限まで合理化してしまうと、未知の感染症が発生するなど突発的な事象が生じた際に、医療現場は大混乱に陥る。医療供給体制をどうして支えているのがエッセンシャル・ワーカーと呼ばれる医師・看護師・保健師・その他の医療スタッフの善意と命がけの医療活動である。繰り返される危機的状況を前に、医療政策に関して些かも修正しようとせず、

コロナ禍と女性たち

ジャーナリスト・松元 ちえ
女性による女性のための相談会実行委員会



最終回

生活保護が最後の砦

コロナ禍が女性に及ぼした影響とその背景について、東京都での「女性による女性のための相談会」開催の中心になっているジャーナリスト松元ちえ氏(写真)に連載してもらおう(4回連載)。

連載最後の回に、新宿歌舞伎町で出会ったひろみさん(仮名、50代)を紹介したい。

ひろみさんは、数年前におよぶネットカフェ生活を通して、同じ状況下の知り合いもできた。みな、歌舞伎町で客をとって生計を立てていた。

ところがコロナ禍で飲み屋が時短営業を強いられ、ひろみさんも同業の若い

消極的だった

年末年始に「コロナ被害相談村」が実施され、ひろみさんも同業の若い

女性たちに付き添って来るようになった。相談員から協力を得て生活保護の申請を済ませた仲間が相次いでアパートに落ち着くのを見て、生活保護に消極的だったひろみさんも申請を決断。

年齢を考えると、今後収入が増えることはない。日々のネットカフェ代や食費の心配をする生活は精神的にも厳しくなるため、20年近く続けた性風俗の仕事の辞めよう

ともとも母親が暴力的

「昨年捕まったこともある。警察官からは遊びか生活のためかと聞かれた。他の仕事ができな

いから、生活するためにやっていると。ネットカフェ難民なんです」と

いから、生活するためにやっていると。ネットカフェ難民なんです」と

いから、生活するためにやっていると。ネットカフェ難民なんです」と

「優遇」は日本政府の幻想

しかし、構成比ではなく1人当り社会支出額の表(上)を見ると、全く違う側面が明らかになる。小計の欄に示されているように、日本の高齡分野への1人当り社会支出は6カ国中5位(9438ドル)に止まる。最下位の英国(8811ドル)よりは上というレベルである。胸を張って「高齡者優遇型」と呼べるほどのレベルではない。中身を検討すると、遺族分野(遺族年金)と高齡分野(老齡年金と介護)が6カ国中3位で、まあ

こうした背景のもとに、コロナ禍による医療崩壊が全国的に生じるに至った。平時の医療体制(病床数、スタッフ数)を極限まで合理化してしまうと、未知の感染症が発生するなど突発的な事象が生じた際に、医療現場は大混乱に陥る。医療供給体制をどうして支えているのがエッセンシャル・ワーカーと呼ばれる医師・看護師・保健師・その他の医療スタッフの善意と命がけの医療活動である。繰り返される危機的状況を前に、医療政策に関して些かも修正しようとせず、

こうした背景のもとに、コロナ禍による医療崩壊が全国的に生じるに至った。平時の医療体制(病床数、スタッフ数)を極限まで合理化してしまうと、未知の感染症が発生するなど突発的な事象が生じた際に、医療現場は大混乱に陥る。医療供給体制をどうして支えているのがエッセンシャル・ワーカーと呼ばれる医師・看護師・保健師・その他の医療スタッフの善意と命がけの医療活動である。繰り返される危機的状況を前に、医療政策に関して些かも修正しようとせず、

こうした背景のもとに、コロナ禍による医療崩壊が全国的に生じるに至った。平時の医療体制(病床数、スタッフ数)を極限まで合理化してしまうと、未知の感染症が発生するなど突発的な事象が生じた際に、医療現場は大混乱に陥る。医療供給体制をどうして支えているのがエッセンシャル・ワーカーと呼ばれる医師・看護師・保健師・その他の医療スタッフの善意と命がけの医療活動である。繰り返される危機的状況を前に、医療政策に関して些かも修正しようとせず、

患者さんが知ってトクする!

医療・介護・税金の負担軽減策

医療費や暮らしの負担を軽減できるさまざまな制度の活用法を紹介したパンフレット。保団連が作成し、医療機関での活用や患者さんへの普及を呼び掛けています。「高額療養費制度が活用を患者さんに案内でき、喜ばれた」などと好評の声が届いています。ぜひ待合室に置いてご利用ください。

ご注文は所属の協会・医会まで

